

# WEL・NET

# 通信

## 2015.11

- Stimulation Therapy 研究会 in 広島
- 生活期・回復期連携推進会議
- 広島県回復期リハビリテーションの会 など

発行日 平成27年 11月1日  
 発行 西広島リハビリテーション病院  
 事務局  
 ☎ 082-921-3230 (代表)  
 URL <http://www.welnet.jp>  
 E-mail [wel@welnet.jp](mailto:wel@welnet.jp)

特集

第6回

## Stimulation Therapy 研究会 in 広島

今年で6回目となる研究会です。今回は当病院が運営事務局となり、広島にて開催しました。経頭蓋磁気刺激治療やボツリヌス療法など新しい治療法について、5題の講演と24の一般演題の発表が行われました。2日間で全国から121名もの皆様にご参加いただき、盛況のうちに終了となりました。次回は2016年、京都での開催が予定されています。

### 大会概要

日程 2015年9月5日(土)-6日(日)

場所 ホテルセンチュリー 21  
広島県広島市南区的場町

代表世話人 安保 雅博  
東京慈恵会医科大学  
リハビリテーション医学講座 主任教授

運営委員長 岡本 隆嗣  
医療法人社団 朋和会  
西広島リハビリテーション病院 病院長



▲ (上) 会場の様子 (真中) 演題発表 (左下) 懇親会 (右下) ランチョンセミナー

### Stimulation Therapy 研究会とは？

以前のリハビリは、「〇〇法」というような治療手技が主体でした。しかし最近では、電気刺激、磁気刺激、リハビリロボット、内服薬・注射薬などをリハビリと組み合わせ、より効果的にするための「刺激(stimulation)」がさかんに行われるようになりました。本研究会は、それが講演・発表テーマの中心です。

### 今大会の注目ポイント！

今回、内服薬が十分に効かないうつ病の人に対して磁気刺激を併用すると、治療効果が高いという精神科分野の報告がありました。脳血流検査や脳波により、効果的な刺激部位がすでに検討されています。研究・臨床がかなり進んでいるようです。一方脳卒中領域の脳機能画像の講演や発表も多数あり、今後が期待される内容でした。

(西広島リハビリテーション病院 病院長 岡本 隆嗣)



佐伯区版「生活期・回復期連携推進会議」が始動しました！地域の皆さんが病院から在宅へスムーズに移行できるよう、生活期と回復期に関わるスタッフの連携を推進することを目的として立ち上げられ、第1回目の会議が8月5日に行われました。

第1回会議では、ケアプランよりしま（ケアマネマイスター広島）の米澤一志氏より安佐南区での連携推進の取り組みをご紹介いただき、意見交換などを行いました。

### 西リハの取り組み

第1回会議では、西リハの取り組みも紹介させていただきました。



地域連携室 岡光孝

- ・入院時家屋調査：入院時から在宅生活を想定して支援
- ・退院前後に家屋訪問：ケアマネ等と情報交換
- ・法人内の回復期・生活期合同症例検討会 など

### インタビュー！

発起人であるお2人に、会議発足の経緯や医療介護連携についての思いをうかがいました。



広島市三和地域包括支援センター  
センター長 久保田 竜二 様

広島市城山・五日市観音地域包括支援センター  
センター長 吉田 隆宏 様

#### Q 発足に至った経緯を教えてください。

**久保田さま：**今後の医療介護連携をどうやっていくかという課題はもともとありました。家屋調査の際、療法士さんに「ここに手すりがあった方がいいですよ」といわれ、あるケアマネさんは「本当にそこに必要かな？」と思ったけど、言えなかった。そういう話も聞いたりして、それでは連携が取れているとは言えないですね。病院の療法士さんは、患者さんが実際に在宅に帰った後どんな風に生活しているかということは分からないし、生活期に関わる側もそういう情報を返していない。じゃあ、返せるようにすればいいじゃないかと。安佐南区ですでにこうした取り組みが行われていますし、とにかくやってみようということになりました。

#### Q 第1回会議の反響はいかがでしたか？

**久保田さま：**皆さん、こういう機会ができて良かった、是非継続してほしいと言ってくれました。

**吉田さま：**皆さんの、患者さん・利用者さんを支えたいという、非常に強い思いが伝わってきました。今回、やっとそういうことを話せる関係ができたのかなと。お互い顔と顔を合わせてみて、初めて意見が言えるんだ、というのが見えてきたんです。やっぱり会話をするっていう

ことは大きいと思うんですよ。名前と顔を覚えて、それぞれの得意とするところが分かるとすると、本当に患者さん利用者さんのために一緒に働けるのかなって。

**久保田さま：**利用者さんを中心にしながら、どっちが上とか下とかじゃなく、新人もベテランも関係なく、佐伯区をみんなで盛り上げていけたら一番いいかなと思います。

#### Q 今後の展望を聞かせてください。

**久保田さま：**他の地域包括にも、一緒にやりたいって言うてくだされば、どんどん広げていきたいですね。懇親会もやりたいです。他の懇親会でもそうですけど、飲み会だともっと意見が出ちゃう（笑）そこから、また仲良くなったりするんです。

**吉田さま：**お互いをよく知ってそれぞれの強みが見えてくると、ああ、佐伯区ってこんな街なんだな、こんな病院があるんだな、こういう連携が取れているんだなって分かってくると思います。それが地域の方にも見える形になって、佐伯区ってこんないいところなんだ！あそこに住めたらいいよねって、評判になるくらいになったらいいですね。

#### Q 医療介護機関の皆様メッセージをどうぞ！

**久保田さま：**1回目の会議は、病院のスタッフさんの参加が少なかったんです。次回からは、是非！たくさん来てください！！

**吉田さま：**これでいいのかな？と思って行っていることが、実はすごく良いことだったりもするので、どんどん紹介してもらえたらと思います。今後みんなで意見を出し合って、佐伯区のツールとしてみんなで共有できるものができればいいなと思いますね。

インタビューへのご協力、  
ありがとうございました！



平成 27 年 6 月 26 日、13 名の発起人が中心となり、『広島県回復期リハビリテーションの会』が設立されました。広島県の回復期リハビリテーション病棟の質向上をはかり、相互の連携を深めることを目的としています。

回復期リハビリテーションが重視される時代となり、制度上の基準を維持するための運用が益々厳しくなっています。また、地域における医療ニーズや提供する医療資源を考慮しながら地域医療体制を構築していくことが求められています。こうしたことから、各都道府県の 17 の地域で、回復期リハビリテーション病棟協会の地方会が立ち上げられ、活動を行っています。

## 創立記念講演会

### 回復期リハビリテーション 病棟の課題と展望

講師 石川 誠 先生

医療法人社団 輝生会 理事長  
回復期リハビリテーション病棟協会 常任理事 前会長 等

日時 平成27年 6月 26日(金) 18:30～

場所 広島国際会議場 小会議室『ラン』

参加者 252名



石川 誠 先生

医療機能の分化と連携の推進、地域包括ケア体制の整備が求められる中、回復期リハビリ病棟に望まれる役割と今後の課題は何かをテーマに、石川先生に講演していただきました。

## 参加病院

- ・ シムラ病院
- ・ 梶川病院
- ・ 浜脇整形外科病院
- ・ 広島パークヒル病院
- ・ 荒木脳神経外科病院
- ・ 山崎病院
- ・ ヒロシマ平松病院
- ・ 広島市立リハビリテーション病院
- ・ 日比野病院

- ・ 広島共立病院
- ・ 西広島リハビリテーション病院
- ・ 五日市記念病院
- ・ 瀬野白川病院
- ・ 大野浦病院
- ・ アマノリハビリテーション病院
- ・ 廿日市記念病院
- ・ マッターホルンリハビリテーション病院
- ・ 呉中通病院
- ・ 大谷リハビリテーション病院

- ・ 井野口病院
- ・ 興生総合病院
- ・ 公立みつぎ総合病院
- ・ 福山リハビリテーション病院
- ・ 水永リハビリテーション病院
- ・ 福山記念病院
- ・ 寺岡整形外科病院
- ・ 三次地区医療センター

2015年11月現在  
27病院

※市区町村順

## 第 1 回研修会のお知らせ

### 回復期で役立つ 嚥下リハビリテーション

日時 平成27年 12月 22日(火)  
19:00～20:30

場所 広島医師会館3階 健康教室  
(広島市西区観音本町1丁目1-1)

定員 100名

参加費 会員病院の職員… 無料  
非会員… 3,000円(お一人様)

1. 「嚥下評価について」  
西広島リハビリテーション病院 リハビリテーション科 専門医 佐藤 新介
  2. 「嚥下訓練について」  
広島国際大学 リハビリテーション学科 教授 沖田 啓子
  3. 「ポジショニングと口腔ケア」  
日本赤十字広島看護大学 認定看護師教育室長 客員教授 迫田 綾子
  4. 講師によるディスカッション
- 座長** 広島市立リハビリテーション病院 院長 郡山 達男

- ・ 申込み用紙を FAX してお申込みください。  
申込み用紙は当院ホームページ等にも掲載しております。
- ・ 申込期限：12月11日まで(定員となった時点で打ち切らせていただきます)



当院は、広島県回復期リハビリテーションの会の事務局です。研修のお知らせ・お申込みについては、当院のホームページ等をご覧ください。



平成 27 年 4 月～平成 27 年 10 月に実施した地域リハビリ研修会です！

当院は **地域リハビリテーション広域支援センター** です！

当院は、地域におけるリハビリテーション支援体制を推進するための施設として、広島県から指定を受けています。地域リハビリ活動の一環として、地域リハビリ研修会を 2～3 カ月に 1 度開催している他、出前リハビリ講座の実施、区民まつりへの参加、失語症友の会への支援、広報誌やホームページ・退院患者統計での情報発信などを行っています。

## “口から食べること”を続けるために ～予防としての嚥下リハビリテーション～

8 月 25 日



▲せんべいを噛んで飲み込むまでの口の動きをじっくりチェック。  
沖田講師「せんべい 1 枚食べるのにこんなに集中したことはないですよ(笑)」

講師：沖田 啓子（言語聴覚士・リハビリ部顧問）  
対象者：一般の方・医療介護スタッフなど  
受講者数：20 名

普段私たちが何気なく行っている飲み込みの動作は、口や舌、喉などの多くの筋肉が協力して動くことで行なわれています。講義前半ではその一連の流れを詳しく解説し、実際に食べ物を食べてみて自分の口で体感していただきました。後半では、口の機能を維持するために有効な筋肉のトレーニング方法や、口の機能が落ちてしまった場合に気をつけなければならない食べ物の形態、姿勢などについて説明しました。



▲（左）加齢や病気のために口や舌の筋肉が衰えるとどうなるか。VF（嚥下造影検査）の映像を見ていただき、食べ物が誤嚥したりスムーズに流れなくなってしまう状態を見ていただきました。

（右）お口のトレーニングを楽しくできる市販のアイテムをご紹介します。

### 参加者の声

- ・体験が随所にあり分かりやすかったです。（リハ職）
- ・食事介助するときのポイントが分かって良かったです。自分でも家でやってみようと思います。（介護職）
- ・いかに姿勢が大事であるか、また筋肉も鍛える必要があることがよく分かりました。（職種不明）
- ・具体的な嚥下訓練が役立ちました。（看護職）
- ・いろんな筋肉が働いて生きていける、人間って素晴らしいですね。（ヘルパー）

## 地域リハビリ研修会

### 今後の予定

1 月 23 日（土） 脳血管疾患の予防

13:30～15:30

講師：前城 朝英（医師）

2 月 20 日（土） 排泄ケア

13:30～15:30

講師：山崎 奈津子（看護師）

※ 予定は変更になる場合がありますのでご了承ください。

最新の情報は当院ホームページでお知らせしています。  
参加申込みも可能ですので是非ご覧ください！

▶ [http://www.welnet.jp/houwakai/kenshu/date\\_kenshu.html](http://www.welnet.jp/houwakai/kenshu/date_kenshu.html)

こんなテーマで開催してほしい！等のご要望もお寄せください。



お茶・コーヒーもご用意してお待ちしております♪

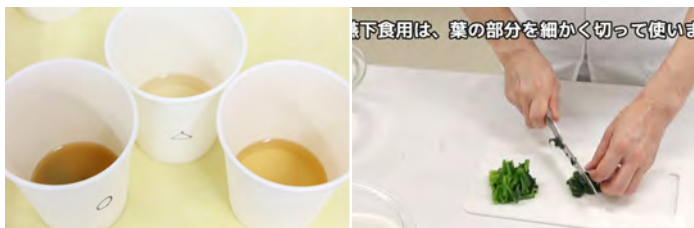
9月12日

## いい塩加減と嚥下食

～からだにやさしくおいしい献立の工夫～

講師：影山 典子（管理栄養士・栄養課課長）  
対象者：一般の方・医療介護スタッフなど  
受講者数：15名

今回は塩分に注目して健康に良い献立の工夫をお話ししました。塩分を抑えてもおいしく感じさせるコツや、飲み込みが難しい方向けの食事にするひと工夫もご紹介しました。調理実習では各テーブルに栄養課のスタッフがついてサポート。昆布水を使って減塩親子丼を作成し、市販品と味の比較を試みました。



▲(左) お味噌汁・出汁のみ・うどんのおつゆを飲み比べて、塩分が濃い順に並べるクイズ。人によって感じ方が異なりましたが、実は塩分濃度は同じです。  
(右) 料理を減塩用・嚥下食用にする工夫を、3分クッキング動画でご紹介。



▲ 調理実習で親子丼とほうれんそうの白和えを作りました。  
▶ ストック野菜で作った具だくさん汁

### 参加者の声



- 減塩についてはなかなか勉強する機会がないので、今回学ぶことができて良かったです。(医療関係者)
- 嚥下の難しい人の食事についても、個々に教えていただきました。小さく刻むだけがよいのかと思っていたが、食材がやわらかいと形があってもいいと分かりました。(ケアマネジャー)
- 塩分を減らす方法として、出汁、風味等いろいろな手段を使ってみようと思います。(介護職)



▲「唾液腺マッサージ」は、唾液分泌を促し、口腔ケア前のリラクゼーション効果も期待できます。口の中にある唾液を出すツボをめがけ、ほっぺたやあごの上から指で軽く圧迫するようにして行います。

## 在宅での口腔ケア

9月12日

～食べることを支援するために、  
おうちでできること～

講師：荏原 幸恵（訪問リハビリ 言語聴覚士）  
折出 由起（歯科衛生士）  
対象者：一般の方・医療介護スタッフなど  
受講者数：15名

「口腔ケア」は歯磨きだけを指すではありません。今回は、特にお口の機能が低下している方にとって重要な、粘膜や舌の掃除、口や首の緊張をほぐすこと、口の筋肉を鍛えて機能を維持することなどについて、実技を交えて説明しました。また在宅で口腔ケアが難しい場合にどのような工夫をしているのか、実際の事例を動画でご紹介しました。

### 参加者の声



- 「口腔ケア」のタイトルの付いた講習会に2、3度参加しましたが、同じような内容かと思いきや、今回は実技も交えて、大変有意義な講習でした。(一般参加者)
- 実際にスポンジを自分の口に入れてみて、感覚がよく分かり、良かったです。(ヘルパー)
- 口腔周囲筋の運動、マッサージ、リラクゼーション、ストレッチなどいろいろ方法があることを初めて知りました。役立ちそうです。(ご家族)



▲ 手袋の上に保湿剤をとり、スポンジ ▲ 歯科衛生士のサポートで、舌のストレッチを体験！



平成 27 年 4 月～平成 27 年 10 月のイベント・ニュースをまとめました。

## イベント・ニュース

### 新しい医師のご紹介



2015/4/1

2015 年 4 月より、回復期リハ病棟に新たに 2 名の医師が加わりました。

きのした しょうじ  
**木下 翔司**  
リハ科・全病棟



たちばな かずし  
**立花 一志**  
リハ科・本 1 階



### 当院の利用者さんの作品が作業療法ジャーナルに掲載されました！

2015/4/15・5/15

当院ご利用者の松重さん・品川さんの作品が、作業療法ジャーナル 4・5 月号表紙にそれぞれ掲載されました。お 2 人の作品は病棟にも一定期間展示させていただきました。



▲ 松重さん作品 (クロス刺繍)

▲ 品川さん作品 (水彩画)

### 「気晴らしコンサート」開催！

2015/4/26



▲ リハビリ訓練室で行われたコンサートには 100 人以上が来られ、大盛況でした。

入院中の患者さんを中心とする「川本 BIGBAND」のコンサートを開催しました。川本さんはバンド復帰に向け、毎日ギターの練習とリハビリをがんばられていました。

### 広島テレビ「脳卒中の後遺症と新療法」取材

2015/5/26

脳卒中の後遺症である痙縮とその治療法である「ボツリヌス療法」について取材を受け、岡本病院長がインタビューに答えました。5 月 28 日の「テレビ派」健康相談室のコーナーで放送されました。



### ベストスマイル賞 2014



2015/5/11

笑顔の良い職員を表彰する「スマイル賞」。毎月の得票数を集計し、2014 年ベストスマイル賞が発表されました。患者さんが選ぶ・個人の部 1 位は本 1 階の漆谷紘一(理学療法士)、団体の部 1 位は西 2 階スタッフ一同となりました。



▲ 漆谷 紘一 (理学療法士)

### ドック食リニューアル！



2015/6/1

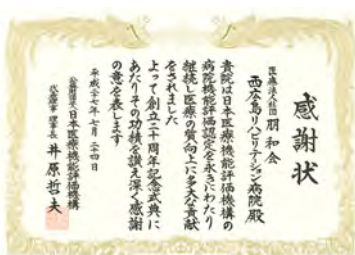
健康開発センターウィルの日帰り人間ドックでは、昼食をご用意しています。そのメニューが 6 月から新しくなりました。



お食事券にメニューの説明とカロリーダウンのアドバイスもついていますので、健康管理に役立てていただけます。

### 日本医療機能評価機構より感謝状

2015/7/24



病院機能評価認定を長期にわたり継続受審し、医療の質向上に貢献したとして、日本医療機能評価機構より感謝状をいただきました。

### 広島豪雨災害追悼

2015/8/20

2014 年 8 月に起きた広島豪雨災害から 1 年を迎え、広島県と広島市による災害犠牲者追悼式が行われました。当法人でも、その開始時刻である 14:00 に合わせて、追悼を行いました。被災地の方向に向かい、災害で犠牲となられた方々に哀悼の意を表して、1 分間の黙とうを行いました。



## 広島テレビ「秋バテ」取材

2015/9/1

「テレビ派」健康相談室のコーナーで「秋バテ」の特集が組まれることになり、栄養面についての取材に栄養課の影山課長が答えました。この内容は9月3日に放送されました。



▲夏の間に冷たいものを取りすぎて弱った胃によりメニューや疲労回復におすすめの食材など、当院の献立を参考に紹介しました。

## メディカルレビュー雑誌「脳と循環」取材

2015/9/7

「What's Up リハビリテーション」の記事に当院が取り上げられることになり、リハビリの特徴や今後の展望について、岡本病院長をはじめ看護部・リハビリ部の代表がインタビューに答えました。2016年1月号に掲載予定です。



## 院内研修

### 集合研修

#### 労働安全衛生委員会 研修

2015.4.23 腰痛にならない介助方法

講師：矢野 慎也 (理学療法士)・尾中 竜輝 (理学療法士)

#### 感染対策委員会 研修

2015.5.22 手指衛生の重要性と実践

講師：株式会社サラヤ 横田 清一 課長

感染対策のもっとも基本かつ重要な手順として、手洗いとアルコール消毒の効果、行うタイミングなどについて再確認しました。



2015.6.23 医療安全委員会 研修「薬と転倒」

講師：福江 亮 (理学療法士)・小原 和久 (薬剤師)

職員一人ひとりが転倒や転落につながる可能性のある薬剤について理解し対応への意識を高めるため、病棟での事例に沿って講義しました。

2015.6.29 「防災研修」

昨年8月の豪雨災害の際に派遣されたリハスタッフより、現地の様子や活動内容、関係機関との協力体制などについて報告しました。



2015.7.29 サービス向上委員会 接遇研修  
「忙しくても笑顔と挨拶、やさしい受け答えができるようになるには」

講師：株式会社工パルス 藪野 美由紀 先生

2015.8.10 職員ハンドブック研修会

朋和会の基本ルールをまとめた「職員ハンドブック」について、使い方と最新情報の確認を行いました。

2015.8.24 「THA (人工股関節置換術) について」

講師：木下 翔司 (医師)・立花一志 (医師)

#### 疾患と障害と生活の理解勉強会

2015.9.15 「VE (嚙下内視鏡検査) について」

講師：佐藤 新介 (医師)

2015.9.18 「自立訓練施設とは」

講師：地方独立行政法人 広島市立病院機構  
広島市立リハビリテーション病院 信永氏

2015.9.29 「中途採用者研修」

リスク対策を中心に朋和会のルールを学びました。(写真は患者さんの転倒を防ぐ事例検討)



2015.9.30～ 「マイナンバー制度に関する説明会」

講師：事業局 総務

#### 医療安全委員会 研修

2015.10.19 「指差し呼称で誤認アクシデントを1/6 にしよう」

講師：田中 直次郎 (理学療法士)  
坂野ゆかり (看護師)

思い込み等による誤認事故防止対策として、法人全体としての指差し呼称確認を定着させるための研修を行いました。



最後にみんなで指差し呼称！

2015.10.29 「食形態についての研修会」

講師：影山 典子 (管理栄養士)

#### 倫理研修

2015.10.31 「認知症ケアの倫理」 講師：高邑氏

認知症を有する方への倫理的視点を持った対応を学ぶ

## 合同症例検討会

2015.5.26 回復期・生活期合同症例検討会 ⑬

「入院時訪問情報と入院時評価を利用して退院3ヵ月後の生活目標を立てる！」

2015.7.21 回復期・生活期合同症例検討会 ⑭

「重症患者さんの自宅退院に向けてチームで考える～退院後訪問から～」

2015.9.24

回復期・生活期合同  
症例検討会 ⑮

「以前から生活期と関わりのあった症例に対する回復期病棟入院初期からの生活期との連携」



## e ラーニング

2015.6.1～9 「ネームバンドの確認方法」



テレビ・ラジオ

- 2015.5.28 脳卒中の後遺症と新療法  
広島テレビ「テレビ派」健康相談室のコーナー 岡本 隆嗣 (医師・病院長)
- 2015.9.3 秋バテにご注意！  
広島テレビ「テレビ派」健康相談室のコーナー 影山 典子 (管理栄養士・栄養課課長)
- 2015.10.18 「見えない障害」知っていますか？  
ソーシャルラジオ@ゆーま 久留嶋 崇史 (作業療法士・副主任)

専門雑誌・書籍掲載

- 2015.4.10 第2章 第5節 リハビリテーション時の留意点  
経口摂取アプローチハンドブック (ヘルスケアラレストラン別冊) p.81 ~ 86 渡邊 光子 (言語聴覚士・リハビリマネジャー)
- 2015.4.15 短時間通所リハビリテーションにおける精神面に対する有効性の評価法—生化学的検査及び客観的評価指標  
地域リハビリテーション第10巻第4号 p.288 ~ 295 伊藤 三千雄 (トレーナー・健康運動指導士) / 岡本 隆嗣 (医師・病院長) / 長尾 光城 (非常勤講師・川崎医療福祉大学 健康体育学科教授)
- 2015.4 歩行用ロボット 回復期リハビリテーション病棟における歩行支援ロボットの活用 日本義肢装具学会誌 31巻2号別刷 岡本 隆嗣 (医師・病院長) / 丸田 佳克 (理学療法士) / 有末 伊織 (理学療法士) / 藤井 靖晃 (理学療法士) / 田中 直次郎 (理学療法士・統括リハビリマネジャー)
- 2015.6 卒業生の声 県立広島大学 学校案内 2016 村上 優香 (言語聴覚士)
- 2015.7.10 平成 27 年度介護報酬改定の意義 岡本 隆嗣 (医師・病院長) 総合リハビリテーション vol.43 No.7 JULY 2015 p.599
- 2015.7 不安定面での姿勢制御能力が地域在住高齢者の転倒に及ぼす影響—不安定面での重心動揺検査における検証— 藤高 祐太 (理学療法士・副主任) ヘルスプロモーション 理学療法研究 Vol.5.No.2, July 2015 p.75 ~ 79
- 2015.8.7 脳卒中リハビリのいい病院 週刊朝日 p.101 ※ 脳卒中リハビリのいい病院全国 602 に掲載されました。
- 2015.8 臨床研究：回復期リハビリテーション病棟における中程度・重度嚥下障害患者層の変化-2012(平成 24)年度診療報酬改定の影響(第2報) JOURNAL OF CLINICAL REHABILITATION Vol.24 No.8 2015p.841 ~ 844 佐藤 新介 (医師) / 岡本 隆嗣 (医師・病院長) / 荒川 良三 (医師) / 沖田 啓子 (言語聴覚士・リハビリ部顧問) / 渡邊 光子 (言語聴覚士・リハビリマネジャー)
- 2015.9.1 事故報告制度の見直しと分析データの活用 医療アドミニストレーター 9 p.23 ~ 31 新家 光晴 (事務・事業局長)
- 2015.9 特殊な NEURO 症例 Modern Physician Vol.35 No.9 2015-9 p.1153-1159 岡本 隆嗣 (医師・病院長) / 久留嶋 崇史 (作業療法士) / 漆谷 直樹 (作業療法士・主任) / 松下 信郎 (理学療法士・主任)
- 2015.10.13 Validity and reliability of the Japanese version of the FIM+FAM in patients with cerebrovascular accident. Scandinavian Journal of Occupational Therapy p.1~7(Epub ahead of print) 田中 恵子 (作業療法士) / 玉代 浩章 (作業療法士・副主任) / 井上 英二 (作業療法士・リハビリマネジャー) / 岡本 隆嗣 (医師・病院長)
- 歩行アシストロボットを用いた回復期脳卒中患者に対する歩行練習の影響-歩行速度による違い- 理学療法科学 30(1):119-123,2015 有末 伊織 (理学療法士) / 田中 直次郎 (理学療法士・リハビリマネジャー) / 藤井 靖晃 (理学療法士) / 藤高 祐太 (理学療法士) / 中本 舞 (理学療法士) / 松本 強 (理学療法士) / 丸田 佳克 (理学療法士) / 福江 亮 (理学療法士・副主任) / 松下 信郎 (理学療法士・主任) / 山岡 まこと (理学療法士・副主任) / 橋本 陽平 (理学療法士) / 園田 泰 (理学療法士) / 霜山 香織 (理学療法士) / 福岡 美佑真 (理学療法士) / 岡本 隆嗣 (医師・病院長)
- 2015 背臥位におけるハンドヘルドダイナモメーターを使用した等尺性股関節伸筋筋力の測定-新たな徒手固定法とベルト固定法の比較- 理学療法科学 30 (1) :91-94 有末 伊織 (理学療法士) / 中本 舞 (理学療法士) / 竹内 貴文 (理学療法士) / 松本 強 (理学療法士) / 田中 直次郎 (理学療法士・リハビリマネジャー) / 岡本 隆嗣 (医師・病院長)

外部講演

- 2015.4.18 痙縮に対するボツリヌス治療 県西部痙縮フォーラム 岡本 隆嗣 (医師・病院長)
- 2015.6.11 これからの回復期リハ病棟の役割 第13回愛知県回復期リハビリテーションの会 岡本 隆嗣 (医師・病院長)
- 2015.6.19 摂食嚥下リハビリテーションにおけるチームアプローチ 平成 27 年度日本赤十字広島看護大学地域支援室 公開講座 岡本 隆嗣 (医師・病院長)

学会発表

- 2015.5.28 ~ 5.30 第52回日本リハビリテーション医学学会学術集会 回復期リハビリテーション病棟システムの必要性 岡本 隆嗣 (医師・病院長) 回復期リハビリテーション病院における段階的嚥下訓練の物性検討と対応 瀧本 泰生 (医師) / 佐藤 新介 (医師) / 荒川 良三 (医師) / 岡本 隆嗣 (医師・病院長) 定期的装具フォローアップへの取り組みと内容の調査 佐藤 新介 (医師) / 岡本 隆嗣 (医師・病院長) / 荒川 良三 (医師) / 瀧本 泰生 (医師) 脳卒中急性期へのリハリ専門医の関与と機能改善の関連：日本リハビリテーション学会を用いた後ろ向き研究 木下 翔司 (医師・東京慈恵会医科大学リハビリテーション医学講座) アトモキセチン内服投与下での低頻度 rTMS と集中的作業療法の併用療法：脳卒中後上肢麻痺に対する予備研究 木下 翔司 (医師・東京慈恵会医科大学リハビリテーション医学講座)
- 2015.6.5 ~ 6.7 第50回日本理学療法学会学術大会 回復期脳卒中片麻痺患者一症例における随意運動と長下肢装具歩行時の下肢、体幹筋活動の比較 中島 久恵 (理学療法士) / 田中 直次郎 (理学療法士・統括リハビリマネジャー) / 渡邊 匠 (理学療法士) / 岡本 隆嗣 (医師・病院長) 脳卒中後片麻痺患者に対する低頻度反復性経頭蓋磁気刺激と集中的リハビリテーションの併用療法における理学療法の効果 松下 信郎 (理学療法士・主任) / 田中 直次郎 (理学療法士・統括リハビリマネジャー) / 山岡 まこと (理学療法士・副主任) / 福江 亮 (理学療法士・リハビリマネジャー) / 丸田 佳克 (理学療法士) / 可部 健司 (理学療法士) / 岡本 隆嗣 (医師・病院長)
- 2015.7.24 ~ 7.25 第32回全国デイケア研究大会 2015 in 広島 短時間通所リハビリテーションが利用者の精神面に与える有効性の検討 伊藤 三千雄 (トレーナー・健康運動指導士) / 松田 秀之 (理学療法士・主任) / 岡 光孝 (作業療法士・リハビリマネジャー) / 吉野 高博 (事務・花の丘統括マネジャー) / 岡本 隆嗣 (医師・病院長)
- 2015.7.25 ~ 7.26 第2回歩行リハビリテーション研究会 失調症患者に対する歩行アシスト効果 園田 泰 (理学療法士) / 田中 直次郎 (理学療法士・統括リハビリマネジャー) / 松下 信郎 (理学療法士・主任) / 福江 亮 (理学療法士・リハビリマネジャー) / 丸田 佳克 (理学療法士) / 藤高 祐太 (理学療法士・副主任) / 可部 健司 (理学療法士) / 山岡 まこと (理学療法士・副主任) / 藤井 靖晃 (理学療法士) / 井関 茜 (理学療法士) / 西村 勇太 (理学療法士) / 岡本 隆嗣 (医師・病院長) PCI を用いて計測した歩行アシストの効果 丸田 佳克 (理学療法士) / 田中 直次郎 (理学療法士・統括リハビリマネジャー) / 園田 泰 (理学療法士) / 下森 未来 (理学療法士) / 井関 茜 (理学療法士) / 西村 勇太 (理学療法士) / 尾中 竜輝 (理学療法士) / 佐藤 正志 (理学療法士) / 藤高 祐太 (理学療法士・副主任) / 松下 信郎 (理学療法士・主任) / 岡本 隆嗣 (医師・病院長)
- 2015.9.5 ~ 9.6 第6回 Stimulation Therapy 研究会 in 広島 回復期における Stimulation Therapy の実際 岡本 隆嗣 (医師・病院長) ボツリヌス療法とリハビリテーション 木下 翔司 (医師) NEURO-15 施行における健側大脳抑制効果の検討 ~近赤外分光法 (NIRS) を用いて~ 玉代 浩章 (作業療法士) / 山根 伸吾 (作業療法士) / 漆谷 直樹 (作業療法士・主任) / 岡本 隆嗣 (医師・病院長) 回復期リハビリテーション病棟での NEURO-15 施行で上肢機能の改善が得られた症例について 玉代 浩章 (作業療法士) / 玉代 浩章 (作業療法士・副主任) / 山根 伸吾 (作業療法士) / 岡本 隆嗣 (医師・病院長)
- 2015.9.18 ~ 9.20 第70回日本体力医学会大会 在宅患者の精神面に対する短時間通所リハの有効性 伊藤 三千雄 (トレーナー・健康運動指導士) / 長尾 光城 (非常勤講師・兵庫大学教授) / 岡本 隆嗣 (医師・病院長)
- 2015.10.1 ~ 10.3 リハビリテーション・ケア合同研究大会 神戸 2015 医療依存度の高い患者を在宅介護すると決めた妻への支援 ~介護経験のない妻への退院指導を行って~ 河野 徳子 (看護師) 当院職員教育における eラーニングの現状 白岡 幸子 (作業療法士・主任) / 登能 淳 (事務・主任) / 小川 美歩 (事務) / 山根 慎吾 (作業療法士) / 沖田 啓子 (言語聴覚士・リハビリ部顧問) / 岡本 隆嗣 (医師・病院長) 介護福祉士が行う退院支援の取り組み ~事例を通して見えた今後の課題~ 小滝 雅博 (介護福祉士) 機能性尿失禁により衣類汚染を繰り返す患者の介護 ~退院後の生活を想定した排泄ケアを行って~ 山田 邦彦 (介護福祉士)
- 2015.10.17 ~ 10.18 第13回日本運動処方学会 在宅患者とその家族における短時間通所リハビリテーションの効果について 伊藤 三千雄 (トレーナー・健康運動指導士) / 榎本 美里 (トレーナー・健康運動指導士) / 瀧 彩華 (トレーナー) / 福岡 さおり (トレーナー) / 岡本 隆嗣 (医師・病院長) / 長尾 光城 (非常勤講師・兵庫大学教授)



- 広島中心部より車で約 30 分
- 五日市南口電停よりバスで約 15 分
- 菜々園電停よりバスで約 10 分

